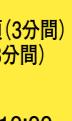
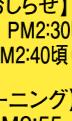
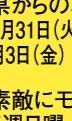
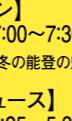
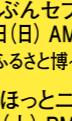
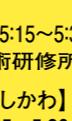
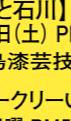


広報いしかわ

Ishikawa Prefecture



毎週金曜日、お得意で役に立つ情報を配信!
登録はこちらから
<https://ishikawa-mmag.com>



県政との1年

さまざまな取り組みが「加速」、「進展」

北陸新幹線金沢開業に向けた取り組みの推進

石川県北陸新幹線開業
PRマスコットキャラクター
「ひゃくまんさん」

○首都圏へ向けた誘客対策の推進と 開業へ向けた意識の醸成

北陸新幹線金沢開業効果を県内全域に波及させるため、「新幹線開業PR戦略実行プラン」を策定。PR活動の財源を確保するため、新幹線開業対策としては全国初となる基

金を120億円規模で創設しました。また、マスコットキャラクターとして「ひゃくまんさん」を決定しました。



北陸新幹線E7系(JR東日本提供)

北陸新幹線の運行体系の概要と列車名の決定

- ・東京-金沢間(速達タイプ)「かがやき」
- ・東京-金沢間(停車タイプ)「はくたか」
- ・富山-金沢間(シャトルタイプ)「つるぎ」
- ・東京-長野間(現長野新幹線タイプ)「あさま」

○並行在来線対策の推進

JR西日本との合意等を踏まえ、3月に石川県並行在来線経営計画を改訂。また、石川県並行在来線(株)は8月に増資及び「IRいしかわ鉄道(株)」への社名変更を行い、12月には鉄道事業の許可申請を行いました。

県民生活の安全・安心の確保

○防災対策の充実・強化

県地域防災計画を修正し、志賀原発から30km圏内の住民の避難先を町会単位で指定。原子力防災訓練では金沢市などにある実際の避難所に、漁船など多様な手段で避難しました。「県民一齊防災訓練(シェイクアウトいしかわ)」

を初めて実施し、参加者が同時に約1分間の安全行動を取りました。また、犀川・浅野川の一体的な治水対策を進め、浅野川放水路の放流量制限を解除しました。



○地域医療の安定的な確保

県立中央病院の建て替えに向けた基本設計を取りまとめ、実施設計に着手しました。県内医師の研修拠点となる金大病院CPDセンターの開設を支援したほか、消防防災ヘリコプターによる医師・看護師が同乗し、能登北部地域等の重症患者を救急搬送するシステムの運用を開始しました。

○陸・海・空の交流基盤の整備

〈幹線道路の整備促進〉

「能登有料道路」「川北大橋有料道路」「田鶴浜道路」を3月31日に前倒して無料化し、能登有料道路については新しい愛称を「ふるさと紀行『のと里山海道』」としました。金沢能登連絡道路(金沢市栗崎町~内灘町大根布)の直線化区間や金沢外環状道路海側幹線(金沢市鞍月~大河端町)の暫定供用のほか、金沢外環状道路海側幹線(白山市乾町~五歩市町)の4車線化などが完了しました。



〈金沢港の活用推進〉

コンテナ貨物の増加に対応するトランクスファークレーンを整備したほか、クルーズ船の誘致促進へ、県民による「金沢港クルーズ・ウェルカム・クラブ」を設立し、歓送迎行事を実施しました。18隻のクルーズ船が寄港し、過去最多の約1万2千人の乗客を受け入れました。

〈空港の活性化〉

小松空港の利便性向上へ、国内線では羽田、福岡、仙台各便が増便されたほか、国際線では出国待合室・免税売店の改修及びボーディングブリッジの増設、駐車場の新設を行いました。能登空港は7月に開港10周年を迎えました。

○史実に沿った歴史的文化資産の創出と魅力あるイベントの開催

金沢城公園玉泉院丸休憩所の起工式と橋爪門の上棟記念式を実施しました。いずれも平成27年春完成の予定です。また、高円宮親王妃久子殿下ご臨席のもと、10月5日、6日に「第21回地域伝統芸能全国大会」を開催し、国内外の59団体が伝統芸能を披露したほか、皇太子殿下ご臨席のもと、10月29日~31日に「第16回全国農業担い手サミットinいしかわ」を開催し、全国の認定農業者らが交流を深めました。



競争力のある元気な産業づくり

○新たな成長に向けた取り組みの進展

〈新たな産業振興指針策定への着手〉

石川県産業成長戦略検討委員会を設置し、石川版成長戦略ともいえる新たな産業振興指針の策定に着手しました。

〈産官の連携による次世代産業の創造〉

県と県産業創出支援機構、県内外の大学、民間企業による炭素繊維の研究開発が国の大型プロジェクトに採択され、協力協定を締結しました。また、富山県、福井県と共に取り組むライフサイエンス分野での研究開発も国の大型プロジェクトに採択されました。



〈大型の企業立地が実現〉

アウトドア用品の(株)モンベルが羽咋市への工場進出を表明したほか、東レ(株)石川工場が炭素繊維ブリプレグの製造ラインの増設、日機装(株)が深紫外線LEDの新工場整備、日本ガイシ(株)が自動車排ガス浄化用セラミックスの工場の増設を表明しました。

○世界農業遺産「能登の里山里海」などの利用・保全の推進

世界農業遺産「能登の里山里海」を舞台に世界農業遺産国際会議が日本で初めて開催され、宝達志水町が認定地に加わったほか、国内では静岡、熊本、大分の地域が新たに認定されました。また、「海女サミット2013 in わじま」の開催を踏まえ、石川、三重両県知事及び関係市長が懇談し、海女文化の振興のために協力していくことを確認しました。このほか、里山保全の全国組織となる「SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワーク」を本県が中心となって設立しました。

○大量退職時代を見据えた教員の資質・能力の向上

本県の教員を目指す学生や講師、現職教員、退職後に再任用される教員を対象に、より高い専門性を身につける「いしかわ師範塾」を開講しました。

○農業への多様な主体の参画

イオンアグリ創造(株)が、直営農場を河北潟干拓地に開設したほか、(株)小松製作所が持つ製造業の生産管理の知識や技術を、農業の収益性向上と人材育成に活かす包括協定を締結しました。赤城畜産(有)、(株)ミスズライフ、(株)スギヨファームの進出表明もありました。

1月~3月

- JR西日本と並行在来線に係る乗継割引制度導入や金沢駅駅舎等の譲渡について合意(2月1日)
- 県立中央病院建て替えへ基本設計取りまとめ(3月)、実施設計着手(4月)
- 炭素繊維分野での研究開発が国の大型プロジェクトに採択され(3月7日、10月30日)、協力協定を締結(7月16日)
- 金沢能登連絡道路(直線化区間)の完成(暫定2車線)(3月20日)
- 金沢外環状道路(海側幹線Ⅲ期区間)の完成(暫定2車線)(3月23日)
- 新幹線開業PR戦略実行プランの策定(3月25日)
- 石川県地域防災計画の修正(3月27日、5月22日、8月7日)
- 石川県並行在来線経営計画の改訂(3月27日)
- 森喜朗氏に石川県名誉県民称号を贈呈(3月29日)
- 北陸新幹線金沢開業カウントダウンフォーラム(3月30日)
- 「能登有料道路」「川北大橋有料道路」「田鶴浜道路」の無料化(3月31日)
- 小松空港国内線(羽田便、福岡便、仙台便)の増便(3月31日)

4月~6月

- 金沢港クルーズ・ウェルカム・クラブの設立(4月)
- いしかわ師範塾の開講(4月1日)
- 百万石まちなかめぐり(さくら:4月6日、もみじ:11月15日~17日)
- 金沢港御供田国際コンテナターミナル(I期)の完成(トランクスファークレーン整備)(4月10日)
- 金大病院CPDセンターの開設(4月27日)
- 世界農業遺産国際会議(5月29日~6月1日)
- いしかわ産業化資源活用推進ファンドの基金拡充(5月31日)
- 浅野川放水路の放流量制限解除(5月31日)
- 石川県産業成長戦略検討委員会の設置(6月6日)

7月~9月

- ライフサイエンス分野での研究開発が国の大型プロジェクトに採択(7月1日)
- 県民一齊防災訓練(シェイクアウトいしかわ)(7月5日)
- 能登空港開港10周年記念行事(7月7日)
- 金沢城公園玉泉院丸休憩所起工式(7月13日)
- 金沢城公園橋爪門上棟記念式(8月3日)
- 小松空港国際線旅客ターミナルビルの整備及び国際線第2駐車場の新設(7月~8月)
- 石川県並行在来線(株)の増資及びIRいしかわ鉄道(株)への社名変更(8月1日)
- 新幹線開業PR推進ファンドの創設(9月10日)
- SATOYAMAイニシアティブ推進ネットワークの設立(9月13日)

10月~12月

- 北陸新幹線の運行体系の概要と列車名の決定(10月2日、10日)
- 第21回地域伝統芸能全国大会(10月5日、6日)
- 能登北部地域等の救急搬送における消防防災ヘリコプターの運用を開始(10月18日)
- いしかわ動物園のコビトカバ(オス)の一般公開開始(10月19日)
- 「ひゃくまんさん」のお披露目(10月22日)
- 海女文化の振興に向けた懇談会の開催(10月27日)
- 第16回全国農業担い手サミットinいしかわ(10月29日~31日)
- 石川県防災総合訓練(11月2日)
- 石川県原子力防災訓練(11月16日)
- IRいしかわ鉄道(株)が鉄道事業の許可を申請(12月6日)
- 金沢外環状道路(海側幹線Ⅲ期区間)の完成(12月21日)